

令和6年7月29日(月)

令和6年度 延岡保健所運営協議会

麻しんについて

宮崎県延岡保健所 健康づくり課

今回の内容

1 麻しんとは

2 麻しんの報告状況

3 麻しんの症状と経過

4 麻しんの治療と予防

5 麻しんに対する取組

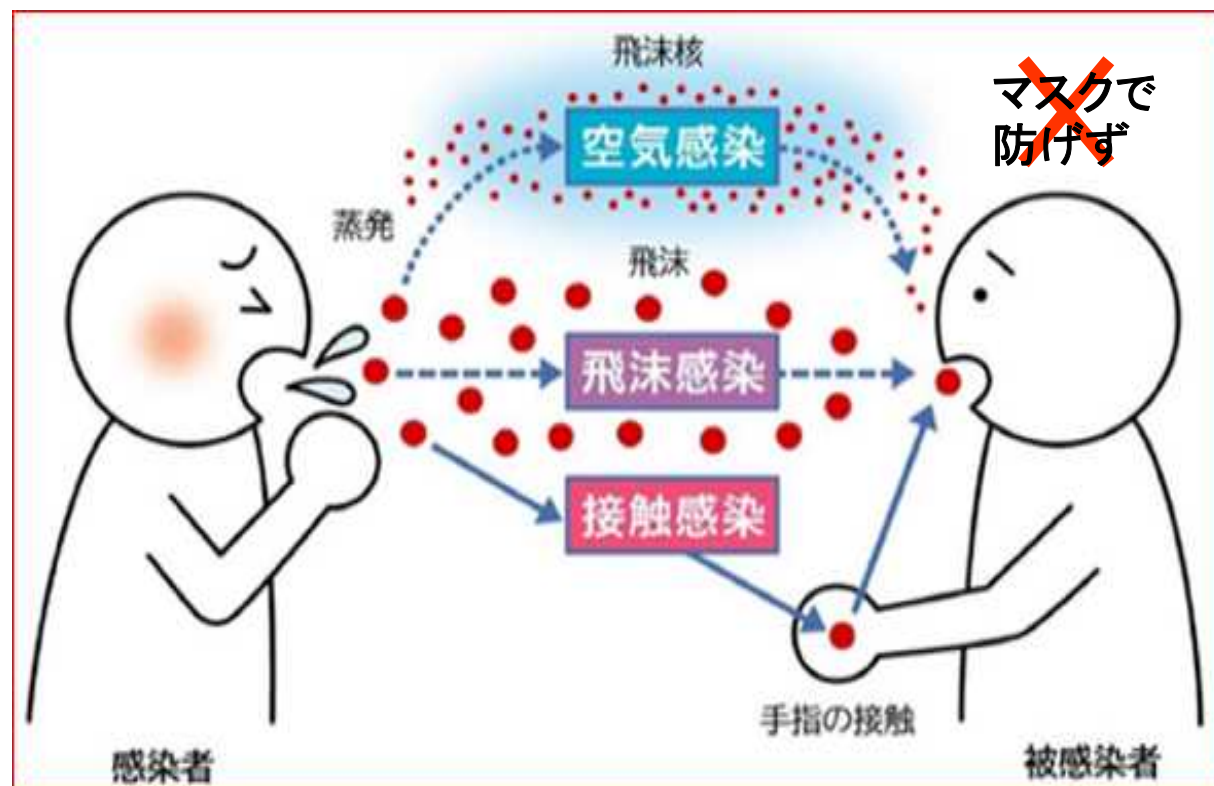
1 麻疹(はしか)とは

麻疹ウイルス の感染で生じる 全身感染症

感染力が強く
少しの麻疹ウイルスとの接触でも
ほぼ100%感染する。

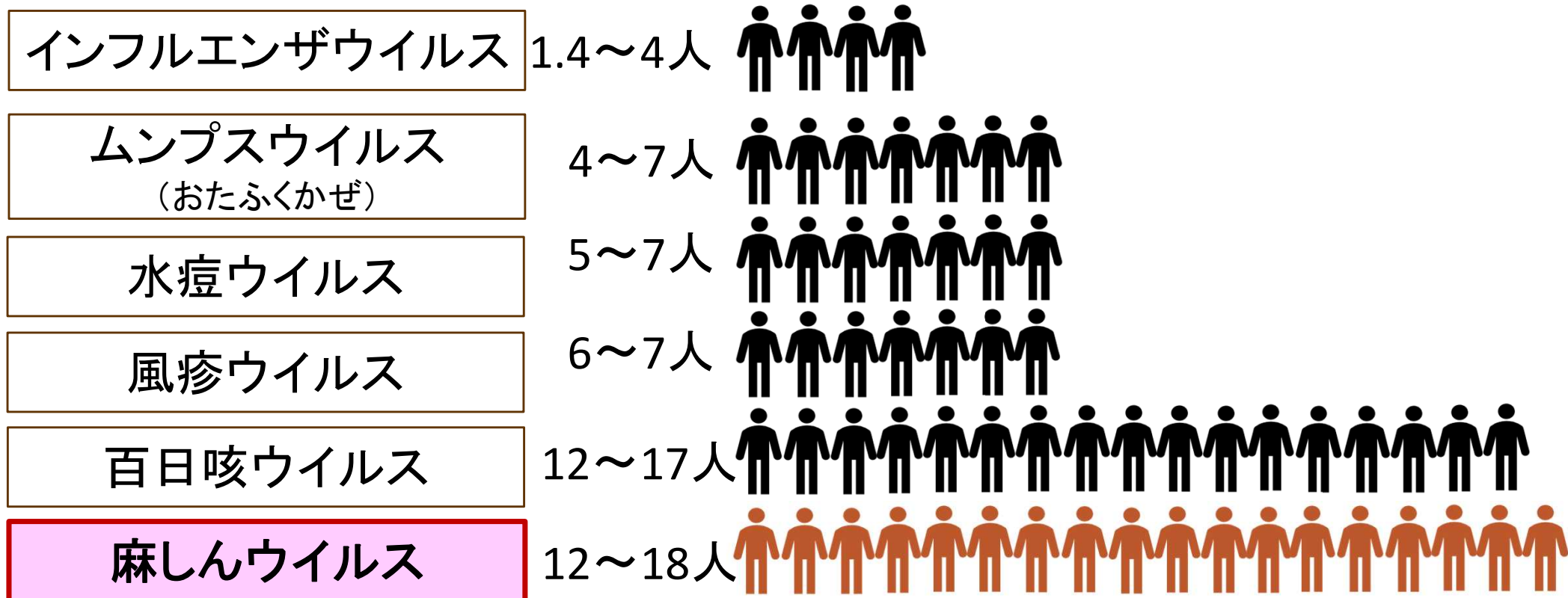
感染経路は
接触、飛沫、**空気感染**

すれちがったくらいでも
感染する



麻しんウイルスの感染力

感染者1人から何人に感染するのか



伝染性感染症の中で最強

2 麻しんの報告状況（世界：2024年2月現在）

麻しん人口あたり報告数
上位10の国々

国名	報告数	人口100万人 あたり 報告率
イエメン	47767	1386.57
アゼルバイジャン	13735	1319.07
キルギスタン	13195	1045.83
カザフスタン	15111	770.71
リベリア	3910	721.62
ガボン	1201	492.91
中央アフリカ	1534	267.14
カメルーン	6101	212.97
イラク	9367	205.85
アルメニア	554	199.43

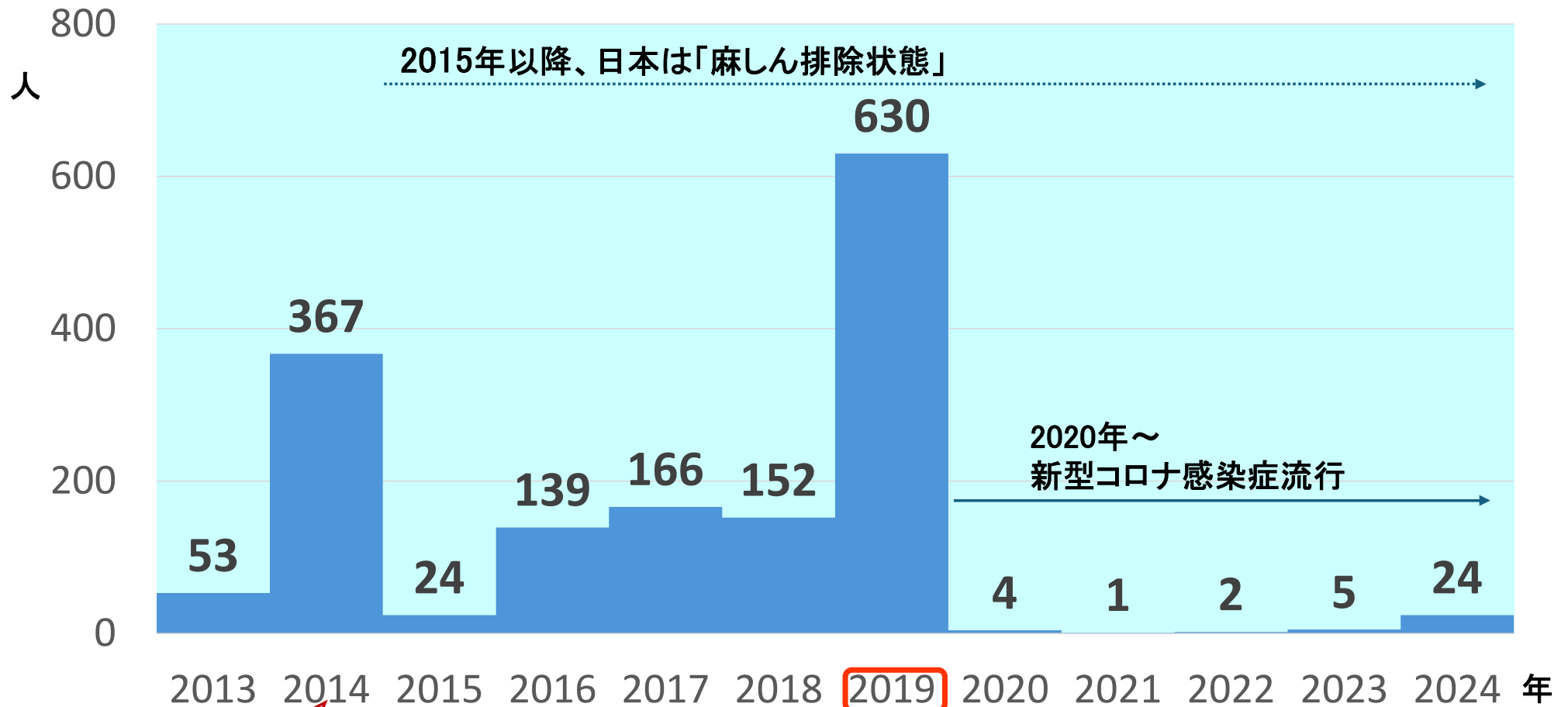


2024年2月現在 WHO:
世界における人口100万人あたりの麻しん報告率

<https://www.who.int/teams/immunization-vaccines-and-biologicals/immunization-analysis-and-insights/surveillance/monitoring/provisional-monthly-measles-and-rubella-data>



2 麻しんの報告状況（日本国内：2013年以降）



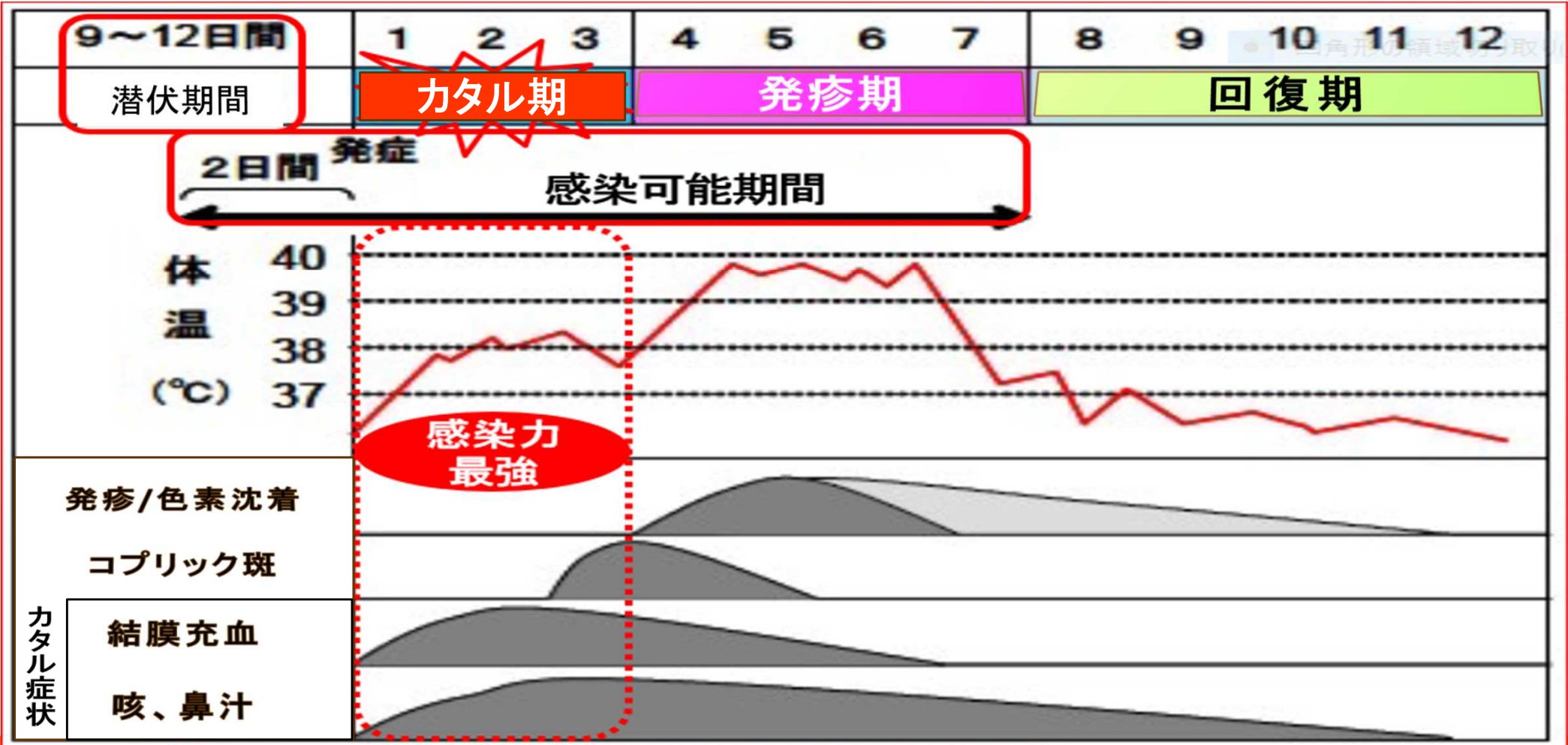
宮崎県内で
4例発生
(延岡2例)

宮崎県内で
1例発生

宮崎県内で
1例発生

* 2024年は6月25日時点
引用：国立感染症研究所 麻しん報告者数

3-1 麻疹の症状と経過



麻疹と気づかないまま行動

引用一部追記: 日本医師会編
「感染症の診断・治療ガイドライン」より

3-2 麻疹の症状

麻疹の発疹

発疹同士がくっつく



<参考>風疹の発疹

発疹同士は離れる



コプリック斑

麻疹の発疹：ぼたん雪、風疹の発疹：粉雪

「麻の服にボタン、風に舞う粉雪」



引用一部追記：日本医師会編「感染症の診断・治療ガイドライン」より

3-3 麻疹の症状

修飾麻疹

麻疹ウイルスに対する免疫が不十分な場合、

微熱、発熱期間が短い、

カタル症状を認めない、

限局性の発疹

との症状を呈する。

症状は軽症、感染力は弱い

潜伏期間は、延びる可能性あり。

症状のみからの診断は困難

検査・診断が重要

4 麻疹の治療と予防

麻疹の治療

対症療法のみ → **怖い合併症**

中耳炎、胃腸炎は多いが、頻度は少なくとも重篤な、命に関わるものは...

肺炎: 約6%。小児の死因第1位
脳炎: 1000人に1例程度。約15%死亡、約25%に後遺症

亜急性硬化性全脳炎(SSPE)【指定難病】
 最も重篤。幼児期の感染後、4~8年過ぎて発症し、死に至る。
 2000人に1人くらい

脳内で持続感染
 学童期に発症

ワクチン接種による抗体獲得必要

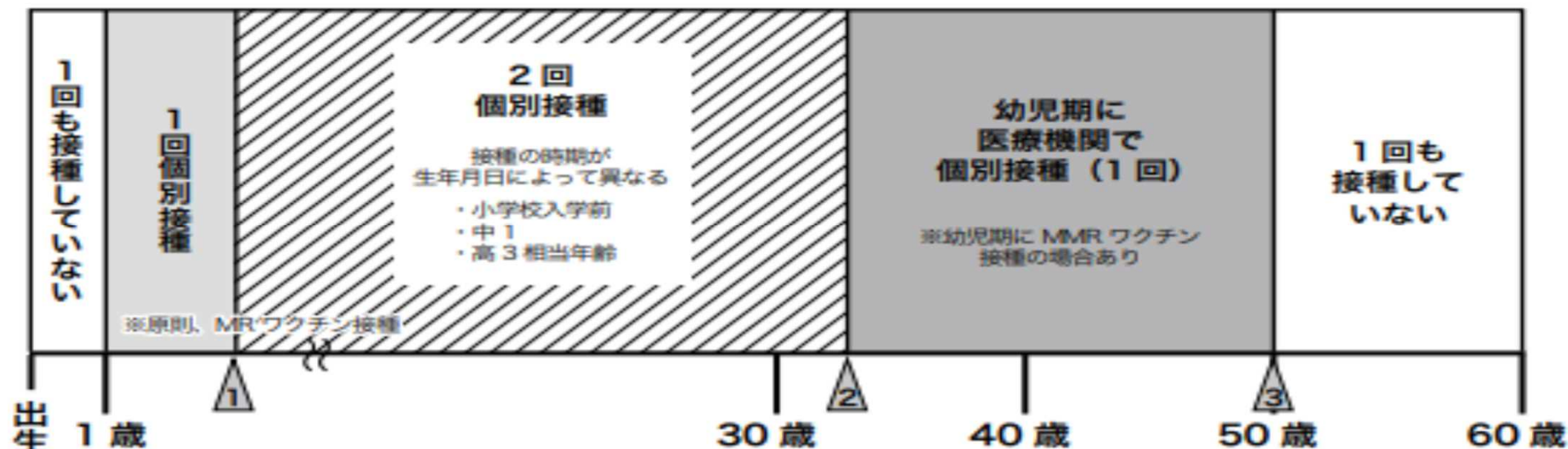
第1期(1歳頃) 第2期(6歳頃)の
 2回のワクチン接種要

2022年度 都道府県別 麻疹ワクチン接種率(%)

都道府県	第1期	第2期	都道府県	第1期	第2期
北海道	95.5	89.0	三重県	97.5	93.3
青森県	94.1	94.0	滋賀県	94.1	93.6
岩手県	96.7	94.5	京都府	93.2	92.4
宮城県	95.0	92.6	大阪府	95.4	92.0
秋田県	96.3	94.7	兵庫県	94.7	93.2
山形県	96.0	92.6	奈良県	94.7	93.1
福島県	92.5	93.2	和歌山県	93.9	92.4
茨城県	94.1	93.0	鳥取県	94.0	93.0
栃木県	92.7	91.4	島根県	94.2	93.3
群馬県	95.2	94.6	岡山県	97.2	93.1
埼玉県	96.1	92.8	広島県	93.4	92.8
千葉県	97.1	93.4	山口県	96.6	93.0
東京都	97.5	92.0	徳島県	95.5	92.3
神奈川県	97.5	91.9	香川県	97.3	95.3
新潟県	94.1	93.7	愛媛県	94.1	93.1
富山県	95.8	94.6	高知県		90.3
石川県	94.8	91.2	福岡県		93.3
福井県	96.8	92.1	佐賀県		92.9
山梨県	94.4	90.9	熊本県		92.9
長野県	95.9	93.3	大分県	92.4	91.4
岐阜県	94.8	92.6	宮崎県	92.3	93.2
静岡県	96.0	93.3	鹿児島県	92.4	89.3
愛知県	96.3	93.4	沖縄県	89.1	85.7
全国	95.4	92.4	延岡市	94.6	92.9

95%以上が
 目標!

4 麻疹の予防 ワクチンの定期接種状況



※ ① ~ ③ は、2023年4月1日時点での年齢を示す。

① 6歳 [2017年4月2日生]

② 33歳0か月 [1990年4月2日生]

③ 50歳6か月 [1972年10月1日生]

「第4回厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会予防接種基本方針部会配付資料」厚生労働省 <https://www.mhlw.go.jp/stf/shingi/0000015044.html> をもとに作成 (2023年8月現在)

引用: 国立感染症研究所 麻疹の発生に関するリスクアセスメント(2024年第一版)p4 図3

5 宮崎県における麻しんに対する取組

感染予防に関する啓発

○海外渡航者の輸入事例や国内伝播による
感染拡大防止

○麻しん風しんワクチン(MRワクチン)接種勧奨

⇒海外や国内の状況を踏まえ、

各関係機関宛てに注意喚起の通知発出
プレスリリースやホームページ掲載
相談対応及びリーフレット配布

厚生労働省

「麻しん(はしか)」

の感染事例が報告されています！

海外渡航後の感染、また国内での感染にも注意が必要です。

感染経路

麻しんウイルスは感染力が非常に強く、空気感染等により、簡単に人から人に感染します。麻しんの免疫が不十分な人が感染すると、高い確率で発症します。

症状

高熱、全身の発しん、せき、鼻水、目の充血など

肺炎や中耳炎になることがあり、まれに、重い脳炎を発症することもあります。先進国であっても、1,000人に1人が死亡するといわれています。



症状がある
場合

医療機関に電話等で麻しんの疑いがあることを伝え以降は医療機関の指示に従ってください。医療機関への移動の際は公共交通機関の利用を可能な限り避けてください。

予防

ワクチン接種が有効です。定期接種対象者(1歳児、小学校入学前1年間の幼児)、医療・教育関係者、海外渡航を計画している方は、予防接種が済んでいるかご確認ください。

※新型コロナウイルス感染症の流行に伴い、接種を延期されていた方は、規定の接種時期ではない時期に接種を行った場合についても、定期接種として取り扱われ得ますので、お住まいの市町村にご相談ください。

詳しくは
こちら

麻しん 厚労省

検索

厚生労働省
麻しんについて



5 宮崎県における麻しんに対する取組

発生時早期対応

感染症法第12条第1項

麻しん 五類感染症・全数報告対象

五類感染症 診断後7日以内に医師が届出

麻しんの場合は迅速な行政対応が必要となるため
診断後24時間以内を目処に届出を依頼。

保健所が窓口

臨床診断例については、届出後であっても、血清抗体価の測定を実施するとともに、所在地の地方自治体に検体提出し、その結果について最寄りの保健所に報告していただき、検査結果等を総合的に勘案し、麻しんでないと判断された場合は届出の取り下げ等のご協力いただきますようお願いします。

臨床診断例については、届出後であっても、血清抗体価の測定を実施するとともに、所在地の地方自治体に検体提出し、その結果について最寄りの保健所に報告していただき、検査結果等を総合的に勘案し、麻しんでないと判断された場合は届出の取り下げ等のご協力いただきますようお願いします。

別記様式5-23

麻しん発生届

都道府県知事（保健所設置市長・特別区長）殿

感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律第12条第1項（同条第10項において準用する場合を含む。）の規定により、以下のとおり届け出る。

報告年月日 令和 年 月 日

医師の氏名 _____
 勤務する病院・診療所の名称 _____
 上記病院・診療所の所在地(※) _____
 電話番号(※) _____
 (※病院・診療所に従事していない医師にあっては、その住所・電話番号を記載)

1 診断(検査)した者(死体)の種類 ・患者(確定例)・感染症死亡者の死体	2 当該者氏名	3 性別 男・女	4 生年月日 年 月 日	5 診断時の年齢(0歳は月齢) 歳 (月)	6 当該者職業
7 当該者住所	電話 () -				
8 当該者所在地	電話 () -				
9 保護者氏名	10 保護者住所 (9、10は患者が未成年の場合のみ記入)	電話 () -			

病 型		13 感染原因・感染経路・感染地域
1) 麻しん(検査診断例)	2) 麻しん(臨床診断例)	① 感染原因・感染経路(確定・推定) 1 飛沫・飛沫核感染(感染源となった麻しん患者・状況: ())
3) 検査麻しん(検査診断例)		2 接触感染(感染源となった麻しん患者・物の種類・状況: ())
11 ・発熱(月 日出現) ・咳・鼻汁・結膜充血 ・眼瞼・コプリック斑・発疹(月 日出現) ・肺炎 ・中耳炎 ・腫炎 ・クループ ・脳炎(急性脳炎の届出もお願いします) ・その他()		3 その他()
12 陰性結果を含め実施したもの全て記載して下さい。		② 感染地域(確定・推定) 1 日本国内(都道府県 市区町村) 2 国外(国)
診 断 (ア) 分離・同定による病原体の検出 検体: 咽頭拭い液・血液・髄液・尿・その他()		

抗体価:()	抗体価の検定(麻しん・麻疹・風疹・副傷寒) (陽性/陰性/不明)	届後
(エ) ベア血清での検体の抽出	接種年月日(S-H-R 年 月 日・不明)	直 ら に 行 っ て く だ さ い
検体採取日(1回目 月 日 2回目 月 日)	届出資料/シロT番号()	
抗体価(1回目)	14 初診年月日 令和 年 月 日	
結果: 抗体陽転・抗体価の有意上昇	15 診断(検査(※))年月日 令和 年 月 日	
検査方法: EIA・HI・NT・PA・その他()	16 感染したと推定される年月日 令和 年 月 日	
(オ) その他の検査方法()	17 発病年月日(※) 令和 年 月 日	
検体()	18 死亡年月日(※) 令和 年 月 日	
検体採取日(月 日)	19 その他感染症のまん延の防止及び当該者の医療のために医師が必要と認める事項	
結果()		
(カ) 臨床決定()		

(1、3、11から13欄は該当する番号等を○で囲み、4、5、14から18欄は年齢、年月日を記入すること。
 (注) 欄は、空白でも結果として認められること。

保健所対応

- ①届出受理後、所内協議
- ②薬務感染症対策課及び衛生環境研究所へ連絡・報告

行政検査

医療機関での検体採取

(全血、尿、咽頭ぬぐい液の3点)

衛生環境研究所へ検体搬入

RT-PCR、麻しん特異的IgM抗体価測定

RT-PCR法は約24時間以内結果判明

陰性

発生届取下依頼
行動制限等解除

陽性

患者・接触者の
行動制限継続、健康観察継続

疫学調査

患者調査

感染源、接触者特定

接触者調査

発症予防、感染拡大防止

拡大防止保健指導

感染可能期間の外出自粛等、行動制限
結果判明の日時連絡等実施